

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 17 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	建設部 管理住宅課
	施策No.	17	施策名	市街地・住環境の整備	施策主管課長名	時田 一直
施策関連課名			政策推進課、芦安窓口サービスセンター			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 住宅 市営住宅利用世帯 非耐震化住宅	快適に生活が送れる。 住む場所が確保できる。 安心安全な生活が送れる。 住居を耐震化する。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画 現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
① 対象指標	ア 世帯数	戸	見込み値			26,914	27,132	27,349	27,566	27,784
			実績値	26,525	26,821	27,079	27,335	27,608	27,885	
	イ 市営住宅利用世帯	戸	見込み値			458	439	420	401	381
			実績値	492	469	447	428	417	394	
	ウ 住宅総数	戸	見込み値			26,316	26,466	26,617	26,767	26,917
			実績値	27,705	27,795	28,880	29,236	29,564	29,754	
② まちづくり指標	A 南アルプス市は住みやすい地域だと回答した市民の割合	%	目標値			70.0	70.5	71.0	71.5	72.0
			実績値	69.4	65.7	65.4	70.2	70.6	62.5	
	B 住宅の耐震化率	%	目標値			65.8	66.1	66.4	66.7	67.0
			実績値	65.3	65.8	67.3	68.5	68.9	69.4	
	C		目標値							
			実績値							
	D		目標値							
			実績値							
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		A: 住環境に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『南アルプス市は住みやすい地域だと感じますか』において、「感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合】 B: 住宅耐震化対策の効果を示す。 【耐震化を有する住宅数(耐震改修家屋数+S56以降建築住宅数)÷住宅総数(固定資産家屋台帳登録件数)×100】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		A: 現況値を踏まえ5年間で約2%の増加を目標値に設定 B: 現況値を踏まえ5年間で約2%の増加を目標値に設定								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
関連事業本数	15	12	15	28	28	25	28	
関連事業予算額(単位:千円)	39,876	42,128	86,762	168,985	179,789	191,587	176,390	
(予算額の内訳)	国庫支出金	8,225	12,049	12,648	25,003	26,493	27,040	19,691
	県支出金	4,612	1,275	2,791	4,342	3,550	5,645	2,670
	地方債	0	0	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
	その他	24,418	24,859	30,634	60,394	57,057	57,677	39,662
	一般財源	2,621	3,945	5,689	44,246	57,689	66,225	79,367

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	※左記の理由 市民アンケートの調査結果は、目標値より8.1ポイント下回る62.5%の市民が住みやすいと感じており、住みやすさを感じていない市民は、昨年度より2.2ポイント上回っていた。また、耐震化率については、目標値より0.3ポイント下回っていた。
② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	※左記の理由 市民アンケートの「住みやすい地域だと感じますか」について現況値と比べると減少状況である。耐震化については、年間300棟程度新築されているが、耐震改修が伸び悩んでいるため、現況値との比較よりも進んでいない。
③ 他自治体との成果実績値の比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 平成15年度から、平成30年度までの耐震化率をみると県全体では耐震診断総数9,803件に対し耐震改修件数が520件で5.3%であった。南アルプス市は657件に対し40件で6.1%となっている。市別でみると甲府市が8.6%、韮崎が8.0%となっている。県全体の平均を下回っているため低いと判断する。

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 旧建築基準で建設した市営住宅に入居している市民がいる。 参考 市営住宅31団地、627戸。昭和55年以前の住宅数は、21団地あり206戸入居 	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅は、耐用年数を経過した建物と旧耐震基準で建設した市営住宅があるので、耐震基準を満たした公営住宅及び一般住宅に住替えを促す 31年度7月から新規事業として家賃補助事業を立ち上げた。
<ul style="list-style-type: none"> 適切に管理が行われていない空き家等があり、防災、環境、景観等に影響を及ぼしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス市空き家等対策基本計画により対策を講じる。